



みどりの風

【スローガン】西中一心～夢の根っこを育てる



鳥栖西中学校 学校だより
令和7年10月23日(木)
文責 校長 高木 健 NO.9

【学校教育目標】「なりたい自分像」に向け、主体的に考え方行動することができる生徒の育成を目指す

せい しゅん 『青瞬～輝け西の原石～』

文化発表会実行委員による力作



10月17日(金)に令和7年度鳥栖西中学校文化発表会を開催しました。今年のテーマは「青瞬」(3年2組さん)、スローガンは「輝け西の原石」(3年5組さん)による考案、プログラム表紙はさん(2年4組)作でした。

文化発表会は、今夏のコンクールで金賞を獲得した吹奏楽部の演奏からスタートし、3年生の主張文発表、展示物の紹介、

プログラム表紙



さんによる英語暗唱、1年生全員によるアルトリコーダー演奏とプログラムは続きました。3年生の主張文は3年2組のさん、3年1組のさん、3年3組のさんによるものでした。自分の経験や世界に目を向けて考えたことなどを自分の言葉でしっかりと述べることができました。英語暗唱のさんは9月に行われた英語暗唱大会佐賀大会の決勝まで進んだ実力を遺憾なく発揮し、「森林を守る」というテーマで、自分の考えを流ちょうな英語で発表してくれました。1年生のアルトリコーダーの発表は10曲ほどを気持ちを一つにして演奏しました。学年でのリコーダー発表は初めての経験でしたが、なかなかのものでした。展示物には美術部の大作や美術の授業での作品、教科「日本語」の授業で制作した俳句、修学旅行のレポートなど、いずれも力作ぞろいでした。

後半は待ちに待った合唱コンクールです。今回はゲスト審査員としてサガン鳥栖からクラブ・コンダクターの豊田陽平さん(とても気さくな方でした!)にも審査に加わって頂きました。

コンクールは1年生から始まりました。元気の良い歌声、めりはりのある動きは入学してからの半年間の成長が感じられました。指揮者の指示による一糸乱れぬ動きは西中の伝統になりそうですね。2年生は昨年の経験を活かし、落ち着いた合唱を聴かせてくれました。段々とハーモニーがよくなってきました。3年生はさすがの迫力でした。「自分たちが一心賞(最優秀賞)を取るんだ!」という意気込みがひしひしと伝わってきました。合唱を通して皆さんは何を感じたでしょうか?上手に歌うことも大切なことです、クラスの仲間と「心を一つ(『一心』)にして」歌うことの方がもっと大切なことではないかなと思います。もちろん、賞が取れるに越したことはありませんが、それよりも「これまで一生懸命練習してきた自分たち〇年〇組の歌声をどうぞ聞いて下さい!」との思いで歌えたならばそれこそ「一心賞」に値するものだと思います。そんな経験を皆さんができるならば嬉しいです。

また、合唱をした皆さんだけでなく、伴奏や指揮をしてくれた皆さんもご苦労様でした。伴奏をしてくれた人は、練習では合唱の出来映えによって何度も演奏を途中で止めることがあったと思います。その都度弾き直して大変でしたね。指揮者の人も同じように何回も腕を振ってくれました。各クラスの素晴らしい合唱を支えたのは皆さんに他なりません。ありがとうございました。



美術部:ゴッホ「星月夜」(模写)



書写作品



1・2年生 美術科作品

今回、鳥栖西中学校での合唱コンクールを初めて聴きましたが、「西の原石」の底力を見せてもらいました。本当にとても素晴らしい歌声と一致団結したクラスのまとまりでした。これからこの原石をさらにしっかりと磨いてもっと輝いてほしいですね！青春の大変な瞬間を感じることのできた一日となりました。

さて、盛り上がりを見せたこの文化発表会と合唱コンクールの成功には、実行委員の皆さんのがんばったことは言うまでもありません。当日はとてもスムーズな運営でした。裏方が目立たないということは、しっかりと準備があったからです。実行委員の皆さん、縁の下で支えてくれて本当にありがとうございました！みんなのために陰で頑張る！これも立派な「西中 PRIDE」です！

【合唱コンクール表彰】

一心賞	3年3組 「いつまでも」 指揮：伴奏：		
学 年	金賞	銀賞	指揮者賞
3年生	3年4組 「忘れることなんかできない」	3年1組 「未来への旅」	3年1組
2年生	2年1組 「心の中にきらめいて」	2年2組 「この星のどこかで」	2年5組
1年生	1年2組 「君と歩こう」	1年4組 「飛び出そう未来へ」	1年4組

【文化発表会実行委員】

クラス	1年生	2年生	3年生
1組			
2組			
3組			
4組			
5組			
6組			

【合唱コンクール実行委員】

クラス	1年生	2年生	3年生
1組			
2組			
3組			
4組			
5組			
6組			

『その日の BEST を出せばいい』（豊田陽平さんの講評から）



豊田陽平さんから合唱コンクールの講評を頂きましたが、お話の中で「緊張について」のお話ををしていただきました。みんなが緊張の中で歌ったことに触れられ、「誰でも緊張はする。なぜか？これまでのベストを出そうとするから緊張する。そうなると体が動かなくなる。これまでのベストでなく、『今日のベスト』を出せばいい。それはベストではなくベターな選択かもしれないけれど、自分はそう考えるようしている。」と話されました。日本代表の試合でPKを蹴るときもそのように思われたそうです。この考え方にはとても共感しました。「これまでのベスト」は難しいけれど「今日の自分のベスト」ならば、力を発揮できそうだと思いました。皆さんも「緊張しているな」と感じたときは、「今日のベストを出せばいいんだ」と考えると楽になるかもしれませんね。